5年に及ぶセリカのラストラン！
数々の名勝負をありがとう

■ 開催日：2008年4月11日～13日

■ コース：岡山国際サーキット(全長3.703km)

■ 天候：<予選> 晴　<決勝> 晴

■ 路面コンディション：<予選>ドライ　<決勝>ドライ

■ チーム：WedsSportRacingTeam with BANDOH

■ 車名：ウェッズスポーツセリカ <GT300 ゼッケン19>

■ ドライバー：織戸　学 / 阿部　翼

■ 監督：坂東正敬

■ 観客動員数：予選 15,000/ 決勝29,000人

フリー走行　4月11日(金)
1回目(混走)　10時00分～11時30分

気温：12度　路面温度：15度　天候：曇
路面状況：ウェット/ドライ

　今回の第2戦岡山は5年に亘りSUPER GTで名勝負を繰り広げた、ウェッズスポーツセリカのラストランとなる。そして、1998年ウェッズスポーツセリカ(ST202)でセリカのデビューランを飾った織戸選手が2008年ウェッズスポーツセリカ(ZZT231)のラストランを飾る。

　昨日の雨で路面はウェットで織戸選手がスタート。
　決勝日、雨の予報も出ているので、レインタイヤの皮むきをかねて、ウェットタイヤで出る。15分後、路面が乾きだし、各車ドライタイヤに交換。織戸選手はソフトタイヤを選択し、7LAP目には1分33秒045を記録し、GT300クラスのトップタイムをたたき出した。その後、マシンセッティングの為PIT INを繰り返し、16LAP目に阿部選手と交代した。交代した直後、赤旗中断。
　10分後には再開し、10LAP目には1分35秒117の自己ベストを記録した。
　阿部選手は岡山のコースとGTマシンに慣れる為、15LAPのロング走行をこなした。
　結果、ウェッズスポーツセリカはGT300クラス4番手で午前中を終了した。

2回目(混走/占有) 14時00分～15時45分

気温：18度 路面温度：29度　天候：晴
路面状況：ドライ

　春らしい天気となった午後のフリー走行。織戸選手からスタート。
タイヤのチェックでコースに出る。午後の走行は阿部選手の慣熟走行となる。

6LAP目に阿部選手に交代。順調に1分35秒台で走行し、20LAP目にはタイヤ交換と燃料補給のためPIT IN。
25LAP目には自己ベストの1分33秒996を記録し、GT300クラス6番手のタイムを出したが、ギアにトラブルの予兆が出て、車を止めた。
このため赤旗中断するが、メカニックの迅速な対応で、残り時間15分のGT300クラス占有時間までにチェックは終わり、織戸選手がマシンチェックの為、コースに出た。
しかし、大事には至らない様子で、ラスト1LAPに最後のアタックを開始、1分32秒904でGT300クラストップタイムを記録したが、後方からの66号車triple a ムルシェラゴRG-1が1分32秒706を記録し、時間いっぱいのところで19号車ウェッズスポーツセリカは2番手に落ち着いてしまった。
金曜日フリー走行の総合順位はGT300クラス3番手となり、明日の予選に向け、好調な出だしとなった。

フリー走行後のコメント

<u>織戸選手</u>

金曜日のフリー走行は始めは雨が残っていたが、予定していたメニューは順調に消化できた。結果としてもクラス3番手のタイムで終えることができ、明日に向けて好調なスタートになったと思います。

<u>阿部選手</u>

金曜日はコース、マシンに慣れるためにロング走行することができ、タイム的にも織戸選手に近づくタイムを出せました。この調子で、良い結果を出せるように頑張りたいと思います。

<u>坂東監督</u>

全て順調です。
セリカも最後と言うことで、ものすごく頑張ってくれました。
明日、あさって、何かが起きると信じています。
期待してください。

WedsSport
TOYOTA motorsports
Racing Development TRD
ADVAN YOKOHAMA
UP START
NUTEC Racing
OldLiner
jms
AD アイシン開発
ECLIPSE
KTEL
REAR VIEW MONITOR
KYB
ÖHLINS
TAKATA
POMEC
SARD
APP

公式予選　4月12日(土)
1回目10時00分～10時20分(GT300)
　　　　10時40分～11時00分(混走)

気温：15度 路面温度：23度 天候：晴れ
路面状況：ドライ

□GT300占有走行
織戸選手がアタックを担当。1アタックで、3LAP目に1分32秒645を記録し、予選3番手のタイムを出して阿部選手に交代。阿部選手も3LAP目には1分33秒537を記録。
昨日のベストタイムを二人とも上回った。しかし、昨日のフリー走行で全ての力を出していなかった伏兵チームがあり、GT300クラスの予選終了後には12番手に落ち着いてしまった。

□混走
12番手で終わってしまった、占有走行だったが、スーパーラップ進出をかけ、織戸選手がNEWタイヤでアタックを開始、4LAP目には1分32秒559を記録したが、
混走でのタイムアタックは1ポジションアップの12番手が精一杯で、織戸選手は渾身のアタックをするためPITIN。
フロントのみタイヤを交換し、フロントのセッティングを変え、残り3分のところでスタート。ラスト1LAPに賭けアタックに挑むが、混走の為、クリアラップが取れず1分34秒500で予選が終了した。
66号車ムルシェラゴがペナルティの為、降格。19号車ウェッズスポーツセリカは11番手で決勝当日のグリッドは6列目に決定した。

2回目　14時00分～14時15分(GT300)

気温:21度　路面温度:32度　天候:晴れ
路面状況:ドライ

スーパーラップ進出にはならなかったものの、決勝に向け織戸選手が最終セッティングに挑む。セッティング確認の為、2LAP走行し阿部選手に交代、8LAPを走行し、予選2回目が終了した。

予選後のコメント

<u>織戸選手</u>

今日は一言で言うと「残念です」大きなミスは無かったのですが、思ったよりも他の車が頑張っていたので結果的には11番手ですが、気持ちを切り替えてセリカのラストランを飾りたいと思います。

<u>阿部選手</u>

今回は前回の鈴鹿よりも織戸選手とのタイム差が少なくなり、良い流れで終えることができました。
　乗っていて違和感を感じた事が一点あったんです。それは、ブレーキのストロークが長かったことです。パッドが消耗してブレーキの効きがいまいちだから、制動距離が伸びたと思っていました。
　ピットに帰り、とくにコメントもしなかったんですが、後からブレーキにエアが入っていることを知り、もっとタイムが縮まることが分かったので次回の予選が楽しみです。

坂東監督
ミスはなかった。セリカとドライバーは一生懸命頑張ってくれました。ただ、金曜日3番手、本日11番手で他のチームの引き出しの多さにもびっくりしました。もっとたくさんの戦略を立てられるチーム作りを目指します。

決勝　4月13日(日)　82周　14時00分～

気温：18度　路面温度：25度　天候：曇/雨
路面状況：ドライ/ウェット

セリカ最後のレース、今までに数々の名勝負を繰り広げてきた。
スタート担当は織戸選手。1コーナーにインから飛び込み、前を行く4号車EBBRO UEMATSUのイン側を突くが、4号車EBBRO UEMATSUはイン側を走行、織戸選手はたまらずイン側ダートに逃げるが、4号車EBBRO UEMATSUがさらにイン側を走行し接触、4号車EBBRO UEMATSUはコースアウト、19号車ウェッズスポーツセリカはエキゾーストが破損してしまい、スロー走行となってしまった。
PITのメカニックたちはセリカが戻ってくると迅速に破損箇所を究明し、補修を10分で終わらせた。メカニックたちのセリカを必ず完走させると言う意気込みが伝わってきた。
しかし10LAP目、焦げる臭いと煙がフロントより発生し再度PIT IN。
原因は、タービンの以上加熱であった。5年に及ぶセリカのレースもこれで幕が閉じる。
次戦はIS350のデビュー戦となる。本当の「爆走坂東組」第2章はここから始まる。
ご声援を宜しくお願い致します。

決勝後のコメント

織戸選手

セリカラストランレース。自分のミスにより、台無しにしてしまった。チームみんなに迷惑をかけてしまった。悔しくて、残念でしょうがないよ。チェッカーまで運んであげられなかった。この悔しさを忘れずにこれから戦っていきます。皆様、応援ありがとうございました。

阿部選手

決勝は走ることは出来ませんでしたが、今回の岡山での練習走行の時間に織戸選手と監督が、自分をマシンに乗せてくれる時間を作ってくれたので、そこで得られた事を次の富士のレースに生かしていきたいと思います。
今回リタイアしたことで、マシンをゴールまで運ぶことがいかに難しいかが分かりました。次戦の富士は、今回の悔しさをぶつけていき、表彰台の中央を目指して走ります。

坂東監督

セリカのとっては残念な結果になりましたが、これもレースだと思っています。

今は色々な気持ちも勉強しないといけないと思っています。

しかし、この悔しさを絶対に忘れず、次のレースに臨みます。

応援してくださったファンの皆様、そしてサポートしていただいているスポンサー様、申し訳ありませんでした。

そして、次戦「富士」に期待してください。応援宜しくお願い致します。

予選結果

1	43	ARTA Garaiya	1’31.796
2	46	MOLAレオパレスZ	1’32.196
3	11	JIMCENTER DIXCEL ADVAN F430	1’32.211
11	19	ウェッズスポーツセリカ	1’32.559

決勝結果

1	43	ARTA Garaiya	2:02’32.682
2	26	ユンケルパワータイサンポルシェ	0’06.190
3	77	クスコDUNLOPスバルインプレッサ	0’16.162
	19	ウェッズスポーツセリカ	リタイヤ

チームランキング

1	26	ユンケルパワータイサンポルシェ	32
2	43	ARTA Garaiya	31
3	7	ORC雨宮SGC-7	24
11	19	ウェッズスポーツセリカ	6

ドライバーランキング

1	43	新田 守男 / 高木 真一	30
2	26	谷口 信輝 / 山路 慎一	28
3	7	井入 宏之 / 折目 遼	23
11	19	織戸 学 / 阿部 翼	4